

1 基本項目	事務事業名	魚津市民バス運行事業				担当部署	課等名	環境安全課
	予算事業名	魚津市民バス運行事業					係名	生活安全係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1048
	事業期間	開始年度	平成18年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標2. 安全で快適な暮らしやすいまち				款	総務費
		政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実				項	総務管理費
		施策名	施策19. 総合交通体系の整備				目	交通対策費
基本事業名	基本事業19-2. 市民バス体系の強化				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)		
根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	市民の日常生活に必要な交通手段の確保を図り、市民の福祉を増進するとともに、魚津市に訪れる方々の利便性を確保し、地域の活性化を図ることを目的として、魚津市民バスを運行しています。 ◇路線 市街地巡回ルート(東・西回り)、郊外ルート(6ルート)、◇運賃 全ルート共通 1人1乗車200円(小・中学生、高校生100円、未就学児無料) [回数券13枚綴り2,000円(小・中学生、高校生回数券13枚綴り1,000円)・1日乗車券500円(小・中学生、高校生300円)あり]
	対象	魚津市民や魚津市を訪れる人
	手段(活動指標)	運行及び安全運行に必要な運行管理を行うとともに、利便性向上などの利用促進策、持続的な運行を行うための運行体制の在り方に関する協議を行う。
	意図(成果指標)	高齢者を中心とした交通弱者の移動手段を確保することで、地域間交流が促進し、地域の活性化、市街地の賑わいが創出する。併せて、道路交通の円滑化・交通安全、地球温暖化防止等環境保全、健康増進などを図る。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 市民バス運行委託料(市街地巡回ルート)	円	17,767,027	17,203,312	16,914,193	18,251,314	107.9%	17,023,941	
	② 市民バス運行委託料(郊外6ルート)	円	48,085,871	49,679,505	53,286,369	48,507,659	91.0%	53,822,548	
	成果	① 魚津市民バス利用者	人	138,521	142,004	142,000	133,698	94.2%	142,000
		② 市民バス運賃収入(全ルート)	円	22,258,178	23,052,715	23,000,000	22,113,256	96.1%	20,602,000

4 コスト情報	区分	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	76,225,187	76,267,808	81,341,000	74,082,876	-2.9%	81,173,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円	3,016,000	2,974,000	1,845,000	3,969,000	33.5%	3,170,000
		②県支出金	円	8,858,000	10,964,000	8,101,000	10,771,000	-1.8%	8,432,000
		③地方債	円						
		④その他(使用料、雑入等)	円	23,951,978	23,225,715	22,699,000	22,258,256	-4.2%	20,842,000
	⑤一般財源	円	40,399,209	39,104,093	48,696,000	37,084,620	-5.2%	48,729,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2	
	②年間所要時間	時間	1,500	1,500	1,500	1,200	-20.0%	1,200	
	③人件費(②×@ 4,012円)(B)	円	6,018,000	6,018,000	6,018,000	4,814,400	-20.0%	4,814,400	
総費用(A+B)	円	82,243,187	82,285,808	87,359,000	78,897,276	-4.1%	85,987,400		

5 取組内容	令和元年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等
	<p>◇バスロケーションシステムの安定稼働に向けた取り組み及びバス運行ディスプレイシステムの運用安定化への取り組み</p> <p>◇市民バスを利用した利用促進イベント「親子でおでかけ事業」、「無料デー」の実施</p> <p>◇市街地巡回ルートの夕方1便の増便実験運行(通勤・通学者対策)</p> <p>◇「魚津市民バス等利用促進協議会」を起点にした、市内全域での市民バス及び地鉄バスの利用促進に向けた取り組み、地域・企業要望等の調整</p> <p>◇マイ時刻表の作成</p>

6 評価	評価の視点	H30評価	R1評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	妥当性	A		A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1
有効性		A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	②目的の妥当性		1	妥当である
					③対象の妥当性		1	妥当である
効率性	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	①目標達成度	2	目標どおり	
	結果(課長総括)	A	A		計画どおり事業を実施することが適当	②類似事業の有無	1	なし
						③上位施策への貢献度	1	高い
1次評価	今後の方針			社会状況の急激な変化による利用者の減少や人口減少に直面しており、今後も各地区の「魚津市民バス等利用促進協議会」や交通事業者等と連携しながら、安全運行管理体制の構築と利用促進への取組みを続けるなど安全で持続可能なバス運行ができるよう方策を講じていく必要がある。	①コスト効率	2	普通	
	○現状を維持	方針の説明等			②実施主体の適正化	1	適正である	
					③負担割合の適正化	2	改善の余地あり	
					不要			
					2次評価			

1 基本項目	事務事業名	鉄道交通対策事業			担当部署	課等名	都市計画課		
	予算事業名	公共交通対策事業			係名	区画整理係			
	事務区分	自治事務			電話番号	0765-23-1026			
	事業期間	開始年度	昭和40年代	終了年度	当面継続	会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標2. 安全で快適な暮らしやすいまち					款	総務費
		政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実					項	総務管理費
		施策名	施策19. 総合交通体系の整備					目	交通対策費
基本事業名	基本事業19-3. 在来線の利便性向上					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)		
根拠法令						総合戦略との関連	関連なし		
アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(協働)					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	地域における公共交通の活性化を図るとともに、北陸新幹線開業後の並行在来線及び地鉄本線の在り方を検討することにより、将来における調和のとれた交通体系を築き、市民が暮らしやすく、また、本市へ来訪される方にとって満足度が高まるまちづくりの実現を目指すため、行政・交通事業者・市民が一体となって各種施策の推進を図る
	対象	市民及び魚津市への来訪者
	手段(活動指標)	「魚津市地域公共交通総合連携計画」に基づき、市民団体の代表や関係機関などの意見を聴き、利用者、非利用者アンケートの機会を設けるほか、公共交通機関や市民ぐるみの活動を支援する。
	意図(成果指標)	市民及び来訪者等全ての人が利用しやすい効果的・効率的かつ持続可能な公共交通体系が築かれる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 交通事業者と鉄道の活性化に向けての協議	回	0	0	3	3	100.0%	3
	②							
成果	① 富山地方鉄道市内4駅乗降者数	人	0	0	1,278,000	1,295,000	101.3%	1,295,000
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円			28,550,467	27,654,122		26,859,000
	財源内訳	①国庫支出金	円					
		②県支出金	円					
		③地方債	円					
		④その他(使用料、雑入等)	円					
⑤一般財源	円			28,550,467	27,654,122		26,859,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人				3		3
	②年間所要時間	時間				500		500
	③人件費(②×@ 4,012円)(B)	円				2,006,000		2,006,000
総費用(A+B)	円				29,660,122		28,865,000	

5 取組内容	令和元年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	①在来線等対策連絡協議会・地鉄鉄道線の鉄道安全輸送設備整備及び利用促進策等への助成 ②あいの風とやま鉄道へ経営安定基金への拠出 ③黒部宇奈月温泉駅と市内を結ぶ、予約式あいのりタクシーの運行 ④魚津駅舎内の利活用スペース「ミラマルシェ」の維持管理 ⑤室堂直行便「アルペンライナー」の魚津1C停車への対応	

6 評価	評価の視点	H30評価	R1評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	2 目標どおり	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし	③上位施策への貢献度	2 普通	
1次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①コスト効率	2 普通	②実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針				③負担割合の適正化	1 適正である		
					不要			
					2次評価			